

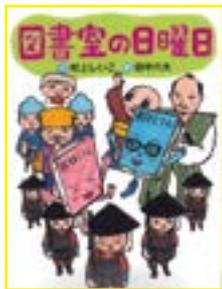
図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

図書室の日曜日

村上 しいこ 作

町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



日曜日の図書室はいつもとちがう。あれ!?なにやら話し声が聞こえる。なにに...

町立 指江図書館

TEL0996-88-6500



老人ホームから逃走したアラン。次々展開するハチャメチャ老人の笑撃・爆弾コメディ。

窓から逃げた100歳老人

ヨナス・ヨナソン 著

Pick Up publication

長島文芸

Nagashima Bungai
ながしまぶんげい

明神俳句会

- 茅名月納屋に手擦れの鍬光る 淵脇 護
- 福祉バス隈なく回る白露かな 筑前 初市
- 少し焦げ森の匂ひのきのこ飯 二階堂妙子
- 空青しおむすび旨き運動会 関 佳代美
- 踊りの輪嫌な話しは後まわし 山寄加代子
- 母の背に親子バツタを連れ帰る 大堂 早苗
- 運動会私しの出番宝つり 二階堂恵子
- 寒村に響く太鼓や祭り笛 坂木 基廣
- 一万歩めざす日課や彼岸花 迫口 君代
- 保育園親子揃って芋を掘る 大堂 正弘

長島短歌会

- 里帰り登り下りの山道に広がる盆地の穂波さやけ 岩下 房代
- 道譲り笑顔返され吾も笑む車離合時の心すがしさ 榎平 頼子
- 稲掛くる水溜まる田に穴掘りて転がる孫らは家の如し 米尾 和子
- 老ひてなほ頻りに甘ゆる飼犬を赤子の如く抱きしむる嫁 坂之下典子
- 不動明王おはす御岳に真向かひてマンダリンセンターに友と歌詠む 中山タマエ
- 野牡丹の紫色が好きなりし友逝きて十年今年も咲けり 浜田美代子
- たはやすく秋更けて寒き沢の辺に野菊群れ咲く危くゆれて 浜畑 松枝
- 台風に倒れし稲を気がかりぬ日すがら梅雨の如く降る雨 本田 幸子

葦原に返りたる田に陽の照るを時の流れと言ひて
寂しむ 松元 睦子

届かざる柿の高枝に苦瓜は割れみて赤き種をさらしぬ 市尾 操

この地球そこ此処に争ひの絶へずしてやがて形の変はる国出づ 岩下 ち江

創生短歌会

後期高齢の保険証手に渡されても待たれているは死のみにあらず 竹之内重信
今日こそは休むと決めし晩酌を結局は飲む背中丸めて 宮元 司

線香の香りただよう道の辺の観音堂の前に佇む 石原百合子

牛の居ぬ牛舎に草を投げ入れて牛はおらぬと独りごと言う 野村 益信

床の間に束ねて活けし秋桜の花それぞれに背を向けており 大塚 洋子

飴玉の袋を我に差出して妻は煙草をやめよと迫る 村上 義彦

秋の陽はいつしか畳に来ていたり無声映画のような死もある 山下 学

一般作品

「短歌」

雲ひとつなき空をゆく飛行機は大山の山音残し去り 中仮屋辰子

神田川渡れば孫と初対面見上げた空にスカイツリー! 平木 良雄

お互いに長生するや何事も気力有るなり良い事有るよ 町田 末則

「俳句」
おし詰まり背を潰さるる如くあり 宗方 清明